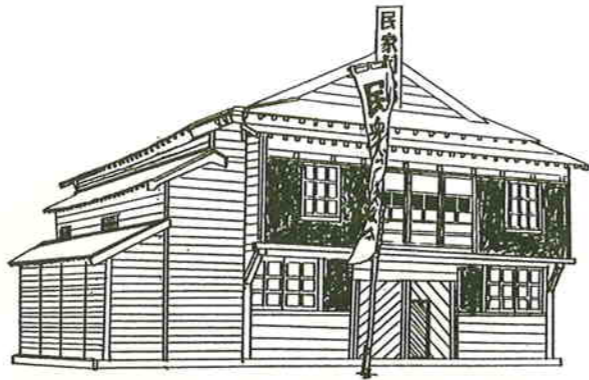
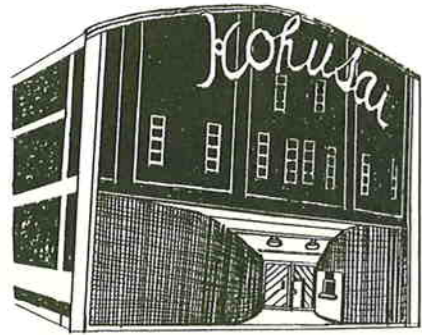
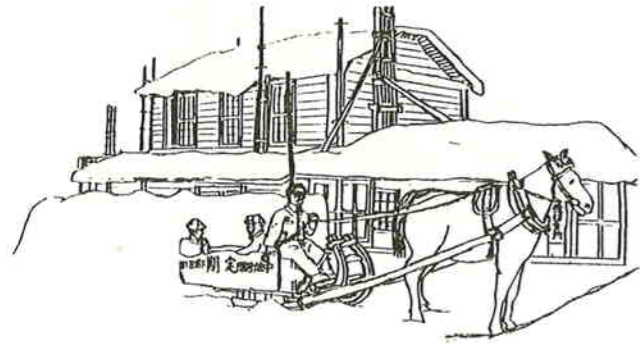


# 中佐呂間と呼び名のころの 市街の姿 (5枚)



④、国際劇場、1958年に、民衆劇場を取り壊し建て替えられて、改名して発足した。1965年焼失するまで、民衆劇場と同じ貢献をしていた。

③、民衆劇場は、昭和22年より佐呂間の娯楽・文化の役割を果たしていた。公の行事などにも大いに活用された。経営者石川武侍であった。

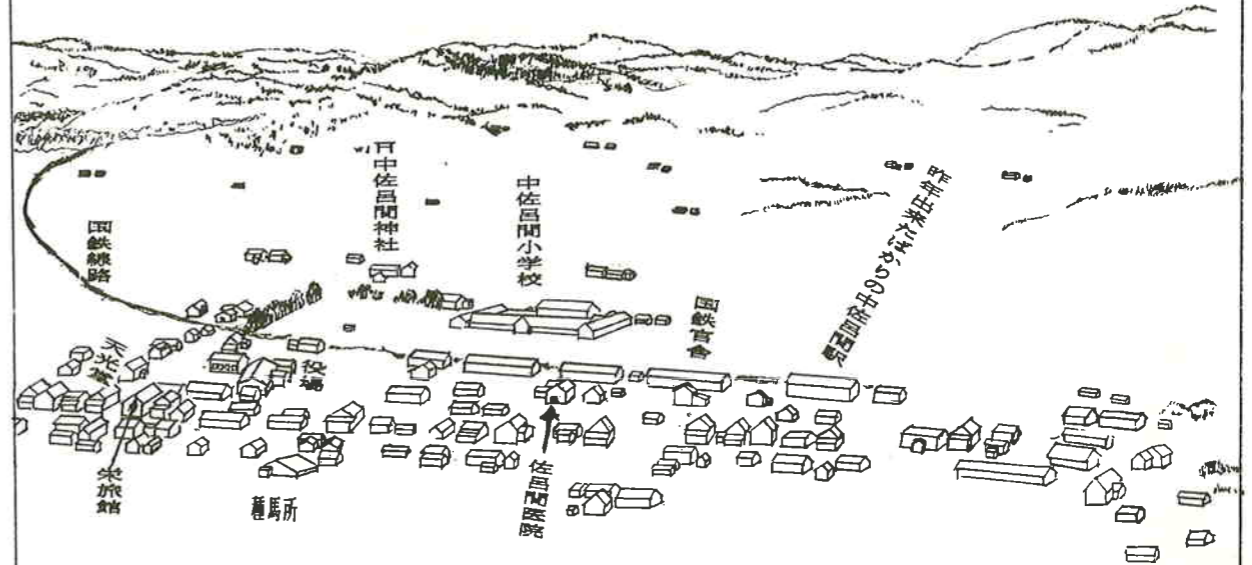


⑤、昭和27年まで姿を見せていた定期馬橋と、佐呂間市街にあった梅原待合所、(昭和25年2月25日撮影写真をトレスした)

佐呂間市街の変化について、もうすっかり無くなってしまった姿を、イラストにして照会してみたいと思いいこの二頁に掲載してみました。  
国際劇場・中佐呂間小学校・国鉄駅・官舎以外は、大正時代建てられた物ではないかと思われまます。

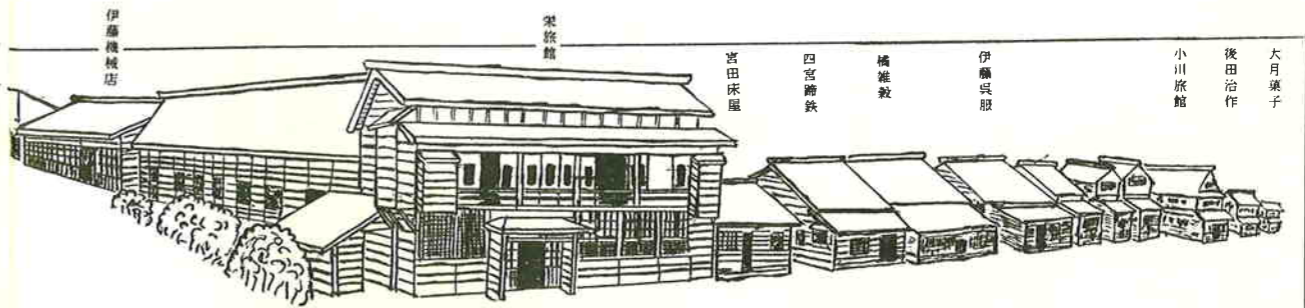
佐呂間市街について

①、昭和12年4月4日撮影写真のトレス



国鉄(現在はJRと言う)開通したのは昭和11年10月当時の佐呂間村民の喜びは大変なものであった。中佐呂間の発展それが契機となって武士(現若佐)と逆転した。(S62・3・19国鉄湧湖線廃止)

佐呂間市街近辺の草分けとして、最初に開拓の鋤を打ち下ろしたのは、明治38年の春、杉本善太郎を団長として、入植して来た10戸の岡山団体であった。



②、昭和28年当時の中佐呂間市街